

		事務事業No.	5-	3	
事業名	住民活動支援事業	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
施策	6 語らいのあるまち	課名	町民課		
	6-1 町民参画のまちをつくる	係名	町民活動係		
	6-1-1 協働によるまちづくりの推進				
主要施策	④町民団体、ボランティア等の育成・支援				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	NPO、市民活動団体	目的 (対象がどのような状態になっているか)	どういん市民活動支援センターを主体として、市民活動団体の活動支援を行うことで、住民にとって市民活動をより身近なものと感じられるようにし、以ってまちづくりに参加しやすい土壌をつくる。
事業内容	住民活動支援事務…平成28年6月に「どういん市民活動支援センター」を町総合文化センターの2階のオープンスペースに開設し行政が直接運営するようになった。市民活動に関する情報、活動状況、課題などを共有し市民活動団体を支援することによって、市民活動団体自らが町運営の一翼を担えるような団体として成長するよう事業を展開していく。 世話焼き人事業…平成28、29年度に実施した世話焼き人講座受講者のうち任意で残った方たちと継続的な打ち合わせを行いながら市民活動に繋がるよう支援を行う。 シルバー人材バンク（個人ボランティア登録）の立ち上げを市民活動支援センターで行う。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	住民活動登録団体数	69	72	73	団体	↑	75
2	NPO認証法人数	3	3	2	団体	↑	8	
3	地域活動やボランティア活動に参加している人の割合	-	-	-	%	↑	48	
4								
5								
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			9,115		11,145	9,423		
財源内訳	直接事業費 A		1,027		3,057	1,335		
	うち一般財源		929		2,952	1,269		
人件費 (千円) B			8,088		8,088	8,088		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.68	4488	0.68	4488	0.68	4488
	臨時職員 (人・千円)		2	3600	2	3600	2	3600

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	市民活動支援センターを気軽に利用できる雰囲気づくりとして、登録団体による夏休みこども教室や、他課と連携した勉強会等の開催を行う。	③取組の課題	町民と行政の「協働のまちづくり推進」について、多くの人の理解を得ること、浸透させることが未だ十分出来ているとは言い難い。
②R1年度に実施した取り組み	同センター、登録団体の活動の周知のため、広報誌を発行するとともに、わくわくフェスタ2019を開催した。現代版「世話やき人」の育成に努めるための講座の開催、政策課とタイアップしたSDGsの研修会を開催した。	④今後の改善計画	センター自体の認知度向上、「世話やき人」の活動開始、個人ボランティア登録者を増やす。